

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学物質の等の名称： Selko pH E
製造元会社名： SELKO B.V.
輸入販売元会社名： スクレッティング株式会社
住所： 福岡県博多区博多駅東 3-12-1
電話番号： 092-432-1301
FAX 番号： 092-432-1306

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性：引火性液体 区分 3
健康に対する有害性：皮膚腐食性・刺激性 区分 1 B
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 区分 1
特定標的臓器（単回暴露） 区分 3

ラベル要素

絵表示またはシンボル：



注意喚起語： 危険

危険有害性情報：H314 重篤な皮膚の薬傷および眼の損傷
H335 呼吸器への刺激のおそれ
EUH071 気道に対して腐食性がある

注意書き： P260 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
P305+P351+P338 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
P303+P361+P353 皮膚（または髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。接触部位を水またはシャワーで洗うこと。
P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
P310 直ちに医師に連絡すること。
P264 取り扱い後は手をよく洗うこと。

3. 組成及び成分情報

単一物・混合物の区別： 混合物

組成及び成分方法

化学名又は一般名	CAS 番号	濃度又は濃度範囲 (%)
ギ酸	64-18-6	20～35
プロピオン酸	79-09-4	10～16
着香料		

4. 応急措置

眼に入った場合： コンタクトレンズを付けている場合は直ぐに外すこと
多量の水で瞼を開けたまま少なくとも 30～60 分よく洗浄すること
医師の診察を受けること

皮膚に付着した場合： 汚染された衣服をすべて脱ぐこと
皮膚を直ちに多量の水で洗い流すこと
直ちに医師の診察を受けること

飲み込んだ場合： できるだけ大量の水を飲むこと 医師の診察を受けること
医師の明確な許可がない限り、無理に吐かせないこと

吸入した場合： 直ちに医師の診察を受けること
直ちに事故現場から離れた空気の新鮮な場所に移動させること
呼吸が止まった場合には、人口呼吸を行うこと
作業員救助のため適切な予防措置を取ること

急性症状及び遅発性症状の

最も重要な兆候症状： データなし

医師に対する特別注意事項： 情報なし

5. 火災時の措置

消火剤： 二酸化炭素、泡消火剤、粉末消火剤、水噴霧

使ってはならない消火剤： 特になし

特有の危険有害性： 火災時の暴露による危険性 燃焼生成物を吸入しないこと

特有の消化方法： 製品分解や人体に有害な可能のある物質の発生を防ぐため、水を噴射し
容器を冷却すること 常に完全な防火装備を着用すること
消火に使用した汚染水ならびに火災の残骸は、法令に従って処分すること

消火を行う者の特別な保護具： 通常の消防服、すなわち防火衣(BS EN 469)、手袋(BS EN 659)、長靴(HO A29・A30) を自給式呼吸器(BS EN 137)とあわせて着用する

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、

保護具及び緊急措置：

危険でなければ、漏れを止める

適切な保護具（「8.ばく露防止及び保護措置」の項を参照）を着用し、眼、皮膚、衣服の汚染を防止すること

上記は作業中・緊急措置を講じる関係者双方に適用される

環境に対する注意事項：

封じ込め及び浄化の方法

製品の下水道への流出や、河川や地下水への接触を防ぐこと

および材料

：

漏出物を適切な容器に回収する

使用する容器については、「10. 安定性及び反応性」の項を参照し、適合性を確認する 残りは不活性吸収剤で吸収する

漏出した場所は十分に換気すること

汚染したものについては「13.廃棄上の注意」の項を参照し、法令に従って廃棄すること

他項の参照：

個人保護具および廃棄に関しては、8項および13項を参照すること

7. 取扱い及び保管上の注意

安全取扱注意事項：

周辺での高温物、スパーク、火気の使用を避けること

喫煙やマッチ・ライターの使用は控えること

換気が不十分な場合、蒸気が地面近くに溜まり、距離があっても引火し逆火の危険がある

静電気の蓄積を避けること

本製品使用時には、飲食又は喫煙をしないこと

汚染された衣服や個人用保護具は、人が食事をする場所に入る前に取り外すこと

環境への漏出を避けること

安全な保管条件：

別の容器に移し替えないこと

涼しく換気の良い場所で保管すること

火気を避けて保管すること

容器は混触危険物質から離して保管すること（詳細は10項参照）

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度	設定されていない
許容濃度（ばく露限界値、生物学的ばく露指標）	
日本産衛学会（2015）	ギ酸：5ppm、9.4 mg/m ³
ACGIH	プロピオン酸：TWA 10ppm
設備対策	局所換気装置等を設置し、作業場の十分な換気を行うこと 顔や眼を洗浄するための緊急用のシャワーの設置を行うこと
保護具	呼吸器の保護具：換気が不十分な場合は、呼吸器用の保護具を着用すること 防塵マスク、簡易防塵マスク、空気呼吸器、送気式マスク等を着用すること
手の保護具：	耐性の保護手袋を着用すること
眼の保護：	気密性の保護眼鏡を使用すること 化学飛沫用のゴーグル及び顔面保護具を着用すること
皮膚及び身体の保護具：	不浸透性保護前掛け、長靴などの保護衣、顔面用の保護具を着用すること
衛生対策	この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと 取扱い後はよく手を洗うこと

9. 物理的及び化学的性質

形状：	液体
色：	透明～淡褐色
臭い：	特異な酸臭
pH：	2.4～3.1
融点・凝固点：	データなし
沸点、初留点及び沸騰範囲：	データなし
引火点：	71℃
爆発範囲(上限)：	データなし
爆発範囲(下限)：	データなし
蒸気圧：	データなし
蒸気密度(空気=1)：	データなし
比重(密度)：	1.18 - 1.22
溶解性：	データなし
n-オクタノール/水分配係数：	データなし
自然発火温度：	データなし
分解温度：	データなし
粘度：	データなし
爆発特性：	データなし
酸化特性：	データなし

臭いのしき(閾)値： データなし
蒸発速度(酢酸ブチル=1)： データなし
燃焼性(固体、ガス)： データなし

10. 安定性及び反応性

安定性： 過度な高温は熱分解を引き起こす可能性あり
危険有害反応可能性： 混触危険物質と反応する
避けるべき条件： 熱
加熱、火気、混触危険物との接触
混触危険物質： 酸化剤または還元剤 強酸または強塩基
危険有害な分解生成物： 熱分解や燃焼により発生するガスや蒸気は健康に有害の恐れ

11. 有害性情報

急性毒性： ギ酸
LD50(経口) 730mg/kg ラット
LC50(吸入) 7.85mg/L/4h ラット
プロピオン酸
LD50(経皮) >4960mg/kg
LD50(経口) 3383mg/kg ラット
LC50(吸入) >20mg

皮膚腐食性/刺激性： 腐食性あり
眼に対する重篤な損傷/刺激性： 眼に対する重篤な損傷
呼吸器感作性： データなし
皮膚感作性： データなし
生殖細胞変異原性： データなし
発がん性： データなし
生殖毒性： データなし
特定標的臓器/全身毒性(単回ばく露)：呼吸器への刺激のおそれ
特定標的臓器/全身毒性(反復ばく露)：データなし
吸引性呼吸器有害性： データなし

12. 環境影響状況

毒性： ギ酸
LC50(魚類) 130mg/L/96h *Brachydanio rerio*
EC50(甲殻類) 365mg/L/48h *Daphnia magna*
EC50(藻類) 1240mg/L/72h

プロピオン酸
LC50(魚類) > 1000 mg/L/96h *Leuciscus idus melanotus*
EC50(甲殻類) > 500 mg/L/48h *D. magna*
EC50(藻類/水生植物用) > 500 mg/L/72h *Scenedesmus subspicatus*

残留性・分解性： プロピオン酸 急速分解性 73% (10d)
生物蓄積性： ギ酸 分配係数(n-オクタノール/水) -2.1mg/l OECD test107
BCF 3.2
プロピオン酸 分配係数(n-オクタノール/水) 0.25 Log Kow@25C
土壤中への移動性： ギ酸 分配係数(土/水) 1.25 mg/l
プロピオン酸 分配係数(土/水) 0.08 l/kg
PBT 及び vPvB 評価： <0.1%
他の有害影響： データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物： 廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと
都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは
地方公共団体がその処理を行っている場合には、そこに委託して
処理すること
廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を
十分告知の上処理を委託すること
汚染容器及び包装： 空容器には残余物が無いようにし、関連法規及び地方自治体の基準
に従って適切に廃棄すること

14. 輸送上の注意

国連番号： ADR / RID, IMDG, IATA 3265
UN Proper Shipping Name : ADR / RID, IMDG, IATA
CORROSIVE LIQUID, ACIDIC, ORGANIC, N.O.S.
(formic acid, acetic acid)
Class: 8
Packing Group: II
海上輸送 船舶安全法： 「15.適用法令」の項を参照
国内規制： 「15.適用法令」の項を参照
特別の安全対策： 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのない
ように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。
重量物を上積みしない。

15. 適用法令

労働安全衛生法

ラベル表示対象（法第57条、施行令別表第9）

通知対象（法第57条の2、施行令別表第9）

リスクアセスメント対象（法第57条の3）

危険物・引火性の物（施行令別表第1第4号）該当しない

作業場内表示義務（法第101条の4）

毒物及び劇物取締法

劇物（指定令第2条）該当しない

消防法

第4類 引火性液体 該当しない

16. その他の情報

参考文献

SDS(SELKO B.V., Product name SELKO pH E, Revision nr.9, dated 12/09/2024)

JIS Z 7253:2012(GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法-ラベル、作業場内の表示および安全データシート(SDS))

GHS 分類対象物質一覧（2024.4.1 更新分）

NITE 化学物質総合情報提供システム（NITE-CHRIP）

厚生労働省 職場のあんぜんサイト

本SDSは製造元提供情報を元に最新の情報で作成しておりますが、すべての資料や文献を調査したわけではないため、情報に漏れがあるかもしれません。また、新しい知見の発表や従来の説の訂正により内容に変更が生じます。重要な決定などにご利用される場合は、別途、資料や文献を調査し検討されるか、試験によって確かめることをお勧めします。なお、含有量、物理化学的性質などの数値は保証値ではありません。また、注意事項は、通常取り扱いを想定しており、特殊な取り扱いの場合には、別途注意が必要になることをご配慮ください。